



令和3年度 日本語教育人材の研修プログラム普及事業  
日本語教師【中堅】に対する研修

Jinzai Chizai Network

日本語教育学会の人材，知財，ネットワークを活かした  
中堅日本語教師のための研修プログラム  
(略称：JCN研修)

公益社団法人 日本語教育学会

# 日本語教育学会の人材，知財，ネットワークを活かした 中堅日本語教師のための研修プログラム（JCN研修）

2018-2020年度

日本語教育人材の研修プログラム開発事業

「対面研修」と「遠隔研修(Slack)」のハイブリッド型

対面研修	5月 第1回 仙台・東京・ 大阪・広島	8月 第3回 仙台・東京・ 大阪・広島	10月 第3回 仙台・東京・ 大阪・広島	12月 第4回 東京集合	2月 レポート提出
遠隔研修	← Slack →				→



2021年度

日本語教育人材の研修プログラム普及事業

「同期型研修(Zoom)」と「非同期型研修(動画視聴, Slack)」のフルオンライン



# 日本語教育学会の人材，知財，ネットワークを活かした 中堅日本語教師のための研修プログラム（JCN研修）

## ■中堅研修コース（定員80名）

目的 これまでに自らが行ってきた日本語教育実践を振り返り，俯瞰し，それらを理論的・メタ的に位置づける活動を通じて，これからの日本語教育の如何なる多様化にも対応し，日本語学習環境を整えることができる日本語教師【中堅】を育成すること

## ■講師育成コース（定員20名）

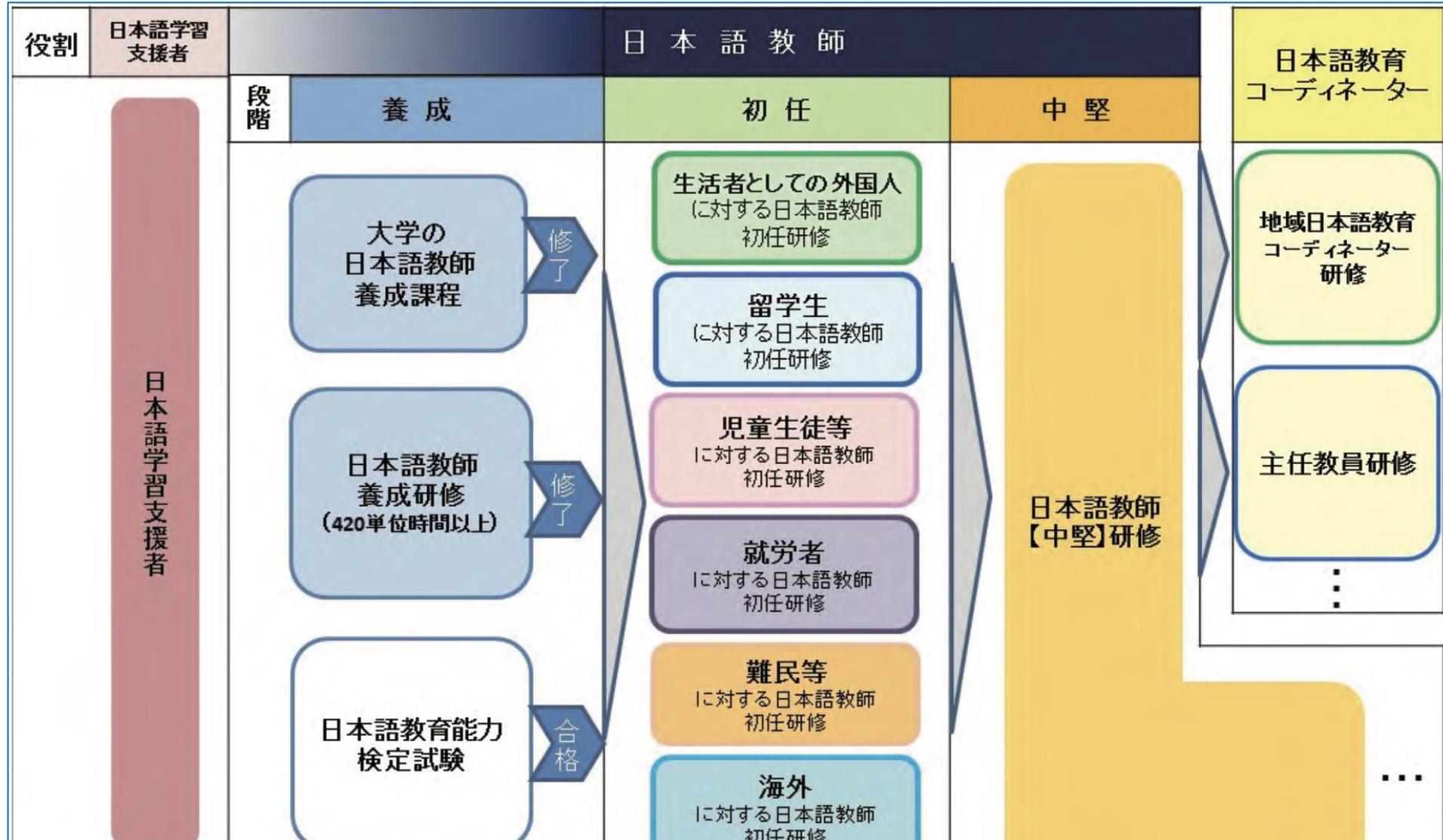
目的 中堅日本語教師の研修を企画し，講師として研修を運営・実施できる人材を育成すること

# 日本語教育学会の人材，知財，ネットワークを活かした 中堅日本語教師のための研修プログラム（JCN研修）

養成	<ul style="list-style-type: none"><li>○日本語教育に関する専門的な教育を受け，第二言語として日本語を教える体系的な知識・技能を有し，日本語教師としての専門性を持っている。</li><li>○国内外の日本語教育現場で定められた日本語教育プログラムに基づき，日本語指導を行うことができる。</li></ul>
初任	<ul style="list-style-type: none"><li>○日本語教育に関する専門的な教育を受け，第二言語としての日本語を教える体系的な知識・技能を有し，<b>かつ活動分野や学習対象者に</b>応じて求められる日本語教師としての<b>専門性</b>を持っている。</li><li>○国内外の日本語教育現場で定められた日本語教育プログラムに基づき，体系的・計画的に<b>分野別の日本語指導</b>を行うことができる。</li></ul>
中堅	<ul style="list-style-type: none"><li>○日本語教育に関する専門的な教育を受け，第二言語としての日本語を教える体系的な知識・技能及び十分な経験を有し，日本語教師としての<b>高度な専門性</b>を持っている。</li><li>○国内外の日本語教育現場で<b>学習者に</b>応じた日本語教育プログラムを<b>策定し，体系的・計画的に日本語指導を行う</b>ことができる。</li></ul>



# 日本語教育学会の人材，知財，ネットワークを活かした 中堅日本語教師のための研修プログラム（JCN研修）





# 日本語教育学会の人材，知財，ネットワークを活かした 中堅日本語教師のための研修プログラム（JCN研修）

## ■中堅研修コース（定員80名）

目的 これまでに自らが行ってきた日本語教育実践を振り返り，俯瞰し，それらを理論的・メタ的に位置づける活動を通じて，これからの日本語教育の如何なる多様化にも対応し，日本語学習環境を整えることができる日本語教師【中堅】を育成すること

## ■講師育成コース（定員20名）

目的 中堅日本語教師の研修を企画し，講師として研修を運営・実施できる人材を育成すること

# 日本語教育学会の人材，知財，ネットワークを活かした 中堅日本語教師のための研修プログラム（JCN研修）

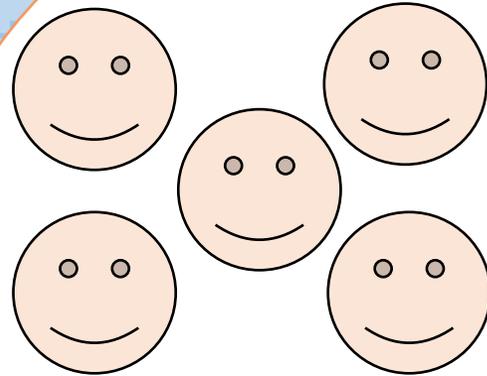
- 中堅研修コース受講生は，**チーム**で研修活動を行う  
本研修では，他者とのつながりと協働を重視します。そのために，研修生は応募時に提出した自らの課題を**1人で考えるとともに**，課題に基づいていくつかのチームに分かれ，**チームとしても研修活動を行います**。  
1人で考え，解決するのではなく，**組織や専門分野を超えた様々なリソースを活用し，つながることの重要性とダイナミズムを経験**します。
- 各自の課題を**自ら設定し，自ら解決する**  
各自の課題や解決方法を誰かに教えてもらうのではなく，**自ら課題を設定し，チームで解決**にあたります。そのために，現場を分析して理解を深め，他者とのつながりの中で解決の糸口を自ら発見し課題に取り組みます。**その過程を通じて**，日本語教師としての成長と専門性のさらなる充実を目指します。
- 講師育成コース受講生は，**メンター**として伴走する

# 日本語教育学会の人材，知財，ネットワークを活かした 中堅日本語教師のための研修プログラム（JCN研修）

## ■ チームで研修活動を行う

本研修では、他者とのつながりが研修活動の効果を重視します。そのため、研修生は応募時に提出した自己研究のテーマを基盤として、研修活動を行います。研修活動は、各自の課題や解決策を共有し、チームで取り組むことで、お互いの成長と専門性のさらなる充実を目指します。

チーム



研修生 3-5名



講師 1名



メンター 1名

（「募集要項」より）

# 日本語教育学会の人材，知財，ネットワークを活かした 中堅日本語教師のための研修プログラム（JCN研修）

講義動画視聴



課題（Slack）



スクーリング（Zoom） × 5回 + 成果発表会  
+メンターセッション（Zoom）



振り返りシート（Slack）

↓ 修了判定

出席率80%以上，課題達成率80%以上の両方を満たすこと。

中堅研修コース 40単位（非同期型研修17単位+同期型研修23単位）

講師育成コース 23単位（非同期型研修12単位+同期型研修11単位）

# 日本語教育学会の人材，知財，ネットワークを活かした 中堅日本語教師のための研修プログラム（JCN研修）

## ■ ガイダンス

「中堅研修コースガイダンス」「講師育成コースガイダンス」「研究倫理と著作権」小林ミナ（早稲田大学）

## ■ 講義 1

「日本語教育人材の育成／日本語教育における中堅」西原鈴子氏（特定非営利活動法人日本語教育研究所）

(1)日本語教育人材について／(2)日本語教育人材の育成／(3)日本語教育における「中堅」

## ■ 講義 2

「日本語教師と「熟達」」横溝紳一郎氏（西南学院大学）

(1)日本語教師の「熟達」とは何なのか／(2)日本語教師の熟達プロセス／(3)自らの教育現場での熟達

## ■ 講義 3

「「実践を記述する」ということ」石黒広昭氏（立教大学）

(1)実践を観察する／(2)実践を記述する／(3)実践を評価する

## ■ 講義 4

「課題解決のアプローチ」石黒広昭氏（立教大学）

(1)課題を解決するとは？／(2)実践に埋め込まれた課題への対応／(3)課題の共有

## ■ 講義 5

「「実践」を振り返る／異なる実践をつなげる・つながる」横溝紳一郎氏（西南学院大学）